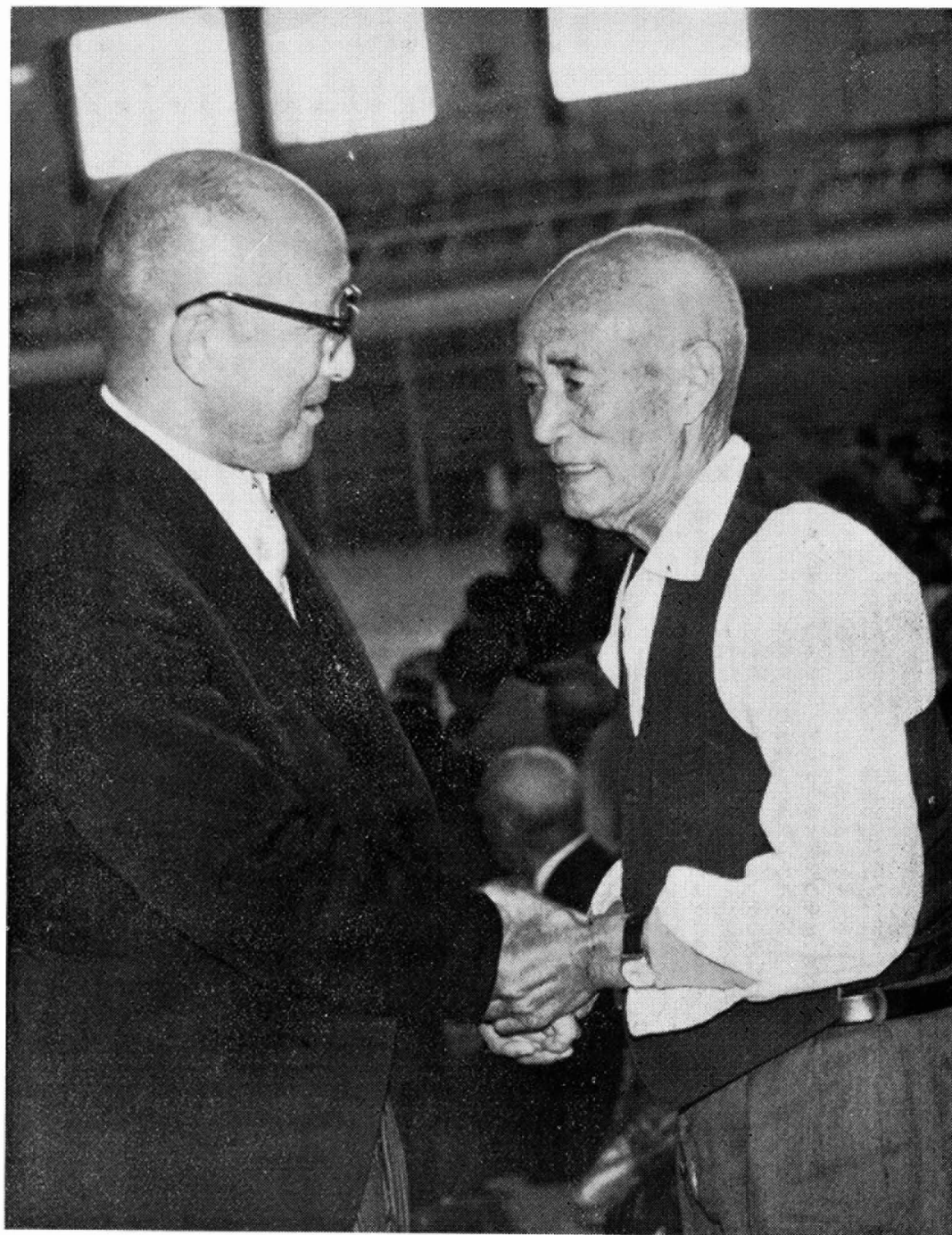


広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課
電話(018876)代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所
電話(018876) 2430番
一部 5円 郵便番号 018-17
毎月 1日・15日発行

あるおばあさんの提言から

—制度以前に心のふれあいを—



敬老式の余興のさ中お互いに歩みより久しい対面がっしりと握手、言葉の数は多くを必要としなかった。広域体育館にて

おあげします

とある日、ミナイイ(三七二)電話に、馬場目に住む老婦人とみられる方から、次のような提言があった。

「私はいつも家の嫁に感謝している。常日頃よく家族のことをやってくれるが、盆、正月には特に申し訳ないと思っている。

私の娘たちはみな町外へ嫁いでいるがこの盆、正月には大挙してやってくる。親としても、娘や孫たちの顔を見ることが不満があるはずもない。

が、しかし、それを迎える側の、特に家にいる嫁の立場にある人の心労は大変なものである。朝から晩までふりまわされる。娘たち夫婦はわいわいがやがややっているが、あによめは一言のぐちもこぼさず、ただひたすらに世話をしてくる。私は心から申し訳ないと思っている。何とかして慰労したいものだと思っ、いろいろ考えてみたが名案はない。

ただ、日頃このような立場の人が沢山いるはずなので、町で呼びかけて慰労する機会を設けていただけだろうか。

姑の立場にある人がやれば何の支障もないように思われるが、恐らく無理だろう。ささやかな慰労大会で結構なので町長さんとよく相談してみてください。」嫁を思う心のこもった電話であった。聞いてさわやかであった。実現できればこの上ない提言になるだろうと思った。

嫁と姑の間は、社会の進歩ほど進歩していない。スキをみては嫁の持物を点検タンスの中を引っかきまわす。四十代半ばにしてまだ財布のヒモに手が届かない。残念ながら、嫁いびりは今も厳然として生きている。だから老婦人の電話がひときわにしみた。

加賀谷町長が、九月六日の敬老式の席上で「老い」に誇りを持って呼びかけた。「老い」ほど人間的なものはないと言われる。それは深い体験で人間のよさ、みにくさを知りつくし、色と欲とを消化し切っているからだろう。

立派な制度も結構、しかしそれ以前に心のこもったふれあい、つきあいを家庭から社会への広がりを求めて、老若相和する社会的風潮を生みだしたいものだ。

良識ある社会を築く使命

— ゆとりのある教育を求めて —

教育の定義—永遠の追求課題

九月八日町民センターならびに広域体育館において、第十五回五城目町教育振興大会が行われた。

開会のはじめに、畑沢教育委員長(写真)からおよそ次のようなあいさつがあった。



「真の教育の定義はあるのか」。人間はどうあればよいのか。その本質は永遠の追求課題である。時代、時代の人間像と本質的な人間像とは自ら違うことであり、この頃とみに感じられる揺れ動く民主主義の中でこのことの追求は教育の現場にあるみなさんに期待するところが非常に大きい。

歴史書の中で一頁にも満たないローマの崩壊は、百年もの歳月を要したと言われる。われわれは初心に立ちかえって少しでも揺れ動くもの、少しの逸脱をも見のがすことなく、自己の確立をしながら初心を守っていくことが大切なのではないかと思っている。

パブロンの条件反射で指摘しているように、人間は徐々に環境に順応する性格を持っている。今日の一步、明日の一步、毎日の一步に誤りがないか常に原点に立ち帰りながら、進む方向を見定

めてほしい。

失敗を恐れず勇敢な前進を

完全を期するあまり、あるいは失敗を恐れるあまり、計画、立案に終始し、間違いないことが良とする風潮にひたらず、ある場合はハダシの教育を試み、勇敢な実行と勇敢な前進をお願いしたい。

みなさんには、良識のある場と社会を築きあげていく教育者としての使命があるかと思う。

本日の研修が、将来に向けて大きな大きな一日になってくれることを祈りたい」と述べた。

社会造りに果たす教育者の使命と姿勢に対する厳しい提言であった。

ゆとりは社会全体のテーマ

このあと五分散会で「ゆとりある教育をどのようにすすめるか」をテーマに、各分散会問題提起者二名の発表に対する質疑応答の形ですすめられた。

第五分散会までの共通な問題点がいくつかあった。

一、この「ゆとりのある教育」は昭和四十八年当時の奥野文部大臣の提言であった。しかし、現場では具体的な取り組みがみられず、試行錯誤の段階とみた。

二、社会全体のゆとりがない。その中には、家庭はもちろん、教育者にもゆとりがないとする発言が多かった。

三、この教育をすすめていくには全町的な規模で各学校間の情報交換をすすめて、取り組むための準備期間が必要である。五十四年度以降に予定されている新指導要領の実施時に焦点をあわせたらどうか。

第三者の提言が

ほしかった

まとめに、神田指導主任の提言があった。

「ゆとりという言葉に定義はないと思うが、物理(時間)面と精神面の二面にとらえることができるのではないか。

甲もなく、乙もなく日と見主義的なゆとりではなく、精神的な安定と充実感を覚えるゆとりある学



町の教育関係者一堂に会す

・アメリカにの人は、何ができるのか。

・日本にこの大学を出ているのか。

・この数行の中にも国民性が感じられる。

もっとほしい

討論の時間

この大会を通じて感じたことがある。釈迦(しやか)に説法になるが、設定されたテーマは非常にタイムリーであった。それに対して討論する時間が、いかにも短かく、さわりで終わった感じが否めない。用意された時間を大巾に上回る分散会が出た要因になったのではないか。

スムーズに欠けた分散会

分散会における運営は、司会、発言者の協力で得られることは論を待たない。

比較的にこのような機会に恵まれた人々の集会でありながら、その運営にスムーズさが欠けていたきらいがある。

会議の運営と発表に

満たされなかった充実感

最後の全体会は各分散会の司会者が発表する場であった。発表者は聴いている人々に、分散会の内容をわかりやすく説明する責任があった。

マイクが悪いのか、発表内容が

よく聴きとれず、迫力に欠けて参加者の焦燥感を誘ったことは残念であった。

総じて会議の(分散会)運営と発表に基本的な充実感を満たされなかったのは素人の浅学さによるところも大きいだろう。この記事に対する関係者のご寛恕(えん)をいただきたい。

モミ乾燥機の

火災事故防止

使用は説明書に従って

今年は天候に恵まれ、近年にない豊作が予想されます。これは農家にとっては誠に喜ばしいことでありますが、稲の収穫期に目立って多くなるのがモミ乾燥機による火災であります。

昨年も県内には六件の火災が発生し、三千九百万円余の損害を出しています。

これらの火災原因に共通していることは油の漏洩、加熱皿の破損、ベルト切れで送風機停止による過熱、バーナー部又は燃焼筒内部に多量のススがたまって異常燃焼を起して火災になっております。

次のことをよく守って事故のないようにご協力をお願いします。

・乾燥機の使用は説明書に従い正しく取り扱うこと

・使用前に完全な点検整備を行なうこと。一シーズン中に三回、四回、バーナー掃除を行うこと

・乾燥機のまわりに燃えやすい物を置かないこと。

・使用中の監視を怠らないようにすること。

(タイマーに頼り過ぎるのは危険です)

消防署

第一回

民有林造林コンクール参加募集

～ 価値ある良質材生産のために ～

町では、第一回五城目町民有林造林コンクールを、次の趣旨と内容のもとに行うことになった。

この町の人工林率は、毎年の造林推進によって、五十二年度末現在で八〇・五％に達し、県全体の人工林率五〇％に比べきわめて高いレベルにある。

しかし、保育を要する二〇年生未満の面積は、人工林総面積七千一二八畝のうち五千四四〇畝を占め実に七六・三％に達している。したがって、この町の山々は、その大半が保育待ちというのが実状である。

今後は、造林を基調に、人工林に対する下刈、除伐、間伐などを手抜きすることなく確実にすすめていくことが非常に重要な課題であり、労働多い保育作業を適切に実施してはじめて、価値ある良質材が生産できるものと考えられる。

このたび、民有林造林コンクールを計画したのは、前に述べてきた保育の重要性を森林所有者に認識してもらおうとともに、保育の技術向上に役立たせるためである。

一、名称
第二回五城目町民有林造林コンクール

二、実施期間 十月十日～二十日
三、参加資格
五城目町に所在する山林の所有者。ただし、展示林および既入賞林を除く。

四、参加基準

▽第一部

①樹種

②面積

③林齢

▽第二部

①樹種

②面積

③林齢

④樹高

⑤樹形

⑥樹幹

⑦樹皮

⑧樹冠

⑨樹根

⑩樹葉

⑪樹木

⑫樹木

⑬樹木

⑭樹木

⑮樹木

⑯樹木

⑰樹木

⑱樹木

⑲樹木

⑳樹木

㉑樹木

㉒樹木

五、参加申込

十月十日まで産業課へ申込むこと。所定の様式があるので、希望者は産業課担当係までおいでください。

六、発表および表彰

発表は町広報などで行い、表彰は産業文化祭で行う。

七、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

八、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

九、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十一、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十二、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十三、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十四、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

独創的なもの。

八、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

九、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十一、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十二、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十三、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十四、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十五、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十六、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十七、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

発表は、産業文化祭の褒賞授与式で行う。

十八、審査

出品作品について、主催者が委嘱する審査員により審査をおこなう。

五城目町

職員採用試験を 行います

申込み受付 十月一日～九日まで

昭和五十四年度五城目町職員採用試験を次の要領により行いますから、希望者は期限内に申し込むようにしてください。

一、採用予定人員 男子 六名

(内大学卒、二名)

二、受験資格

五城目町に居住し、通勤可能な者で①の資格を有し②の欠格事項のいずれにも該当しない者。

①学校教育法による高等学校または同等以上の学校(大学を含む)を昭和五十四年三月卒業見込みの者。

②日本の国籍を有しない者。

(一)禁治産および準禁治産者。

(二)禁錮以上の刑に処せられ、その執行を受けることがなくなるまでの者。

(三)日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法または、その下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、また

これに加入した者。

三、試験の方法

①第一次試験

・教養試験

公務員として必要な一般的知識、知能(社会、理科、国語、英語、文章理解、判断推理、数的処理、資料解釈等)について筆記試験を行います。

②第二次試験

第一次試験の合格者に対してのみ行います。

・口述試験

個別面接により主として人物について試験を行います。

・作文

主として文章表現力等について試験を行います。

身体検査

②第二次試験

第一次試験の合格者に対してのみ行います。

・口述試験

個別面接により主として人物について試験を行います。

・作文

主として文章表現力等について試験を行います。

身体検査

職務執行に必要な健康度を有するかどうかについて検査を行います。

身上調査

受験資格の有無および申込書記載事項の真否について調査します。

四、試験日および場所

第一次試験

昭和五十四年十月十六日午前

十時五城目町役場第一会議室

第二次試験

昭和五十四年十一月十

五城目町役場内または、町民センター内

(第一次試験合格者に別途通知します。)

五、合格者発表

第一次十月下旬に役場前掲示

場に掲示するほか合

場に掲示するほか合

場に掲示するほか合

場に掲示するほか合

場に掲示するほか合

県スポで男子(バスケット)初優勝

剣道準優勝 柔道 三位

第八回県民スポーツ大会は、九月十日、県立、市立両体育館を主会場に開かれた。

本町からは、十一種目中九種目に参加したが、選手たちがよく頑張った。男子バスケットの優勝をはじめ、剣道準優勝、柔道三位、庭球三位になるなど立派な成績を納めた。

成績はつぎのとおり

相撲個人三十代準決勝
石井 突落し 加賀谷
(五城目) (男鹿)

同決勝
伊藤 下手投げ 石井
(五城目)

剣道団体準決勝
五城目 2-1 仙北
昭和 1-1 岩城

(本数勝)

同決勝

昭和 1-0 五城目
宮城 メーメ 小玉

菅原 メーメ 柳原
小林 メーメ 館岡

鷹ノ巣町チームを迎えて

好試合が期待される

交歓大会

九月二十三日五城目で

鷹ノ巣町と五城目町の第四回交歓スポーツ大会が、九月二十三日(土)広域体育館と雀館運動公園広域を会場に行われる。

鷹ノ巣町は県北でも有数のスポーツ町で、バレーボールや相撲など各種競技が非常に盛んなところである。

評・ベテラン柳原、館岡選手に新人小玉のメンバーでのぞんだ五城目チームは、攻めに若さがあるもののフアイト十分の小玉選手がよく先鋒の役目を果たした。

順調に進んだ決勝だが、中堅の柳原選手波に乗り切れないうままに、ついに二本とられてしまい、大將の館岡選手に望みをつなぐ。先手の面をとりあと一本その

瞬間を待ったが相手もさすがに大将、間もなくお返しをとられ代表決定戦を待つまでもなく、本数負けとなる。惜しい試合であった。練習量の差が一本になったかも知れない。

バスケットボール決勝

五城目 75-50 琴丘

評・決勝はある意味で楽に勝てた試合であった。

このチーム最も苦しんだのは前日の鷹ノ巣と戦ったときである。金子、原田がリバウンドをとれず、パスの乱れ、決まらないシュート、こんな内容でシ



館岡選手のロングシュート

これまでの対抗はほぼ互角で、好試合を展開している。今年、県民スポーツ大会で鷹ノ巣チームと接戦を演じた男子バスケットボールをはじめ、テニスなど熱戦の展開が予想される。

町内のみなさんからも、気軽に参加していただき、選手のために声援をお願いしたい。

当日行われる種目はつぎのとおりである。

・バスケットボール
一般男女、ママさんチーム
各 十二名

・バレーボール
一般男女、壮年チーム各十二名

・卓球
一般男女チーム 各 十二名

・バドミントン
一般男女チーム 各 七名

・テニス
一般男子チーム、A、B各五名

・野球
四十歳以上チーム 十五名

・朝野球優勝チーム 十五名

・ゲートボール
大会役員チーム 五名

ソーゲームの展開となった。

そんな中で、本町選手のロングシュートが決まり出したのは後半の後半、救世主であった。二ゴールの差で決勝のぞんだのである。スピードとチームプレーの徹底を切実に感じた試合であった。

柔道準決勝

象潟 1-0 五城目

・歌式庭球準決勝

能代 2-1 五城目

家出人行方不明のご相談は警察署へどうぞ

さまざま二万六千体の仏々

五城目警察署では、みなさんから家出人などの相談を受けて、行先の調査をしておりますが、いまだに手がかりのない方も相当数おられます。

昭和二十六年から今年の七月までに全国の家出人は、八万五千六八八名、行方不明死亡者二万六千一〇二名もあり、県内でも家出人一九七名、身元不明死亡者一二二名となっております。

家族の中の誰かがある日、突然いなくなる。その一家にとっては「大事件」のはずなのに、二万六千もの「さよう仏さま」が、い

るのとはなぜなのでしょう。

ひとつには、自殺者が自分の身元がわからないように背広のネームを取り去っていたり、身分証明書とか運転免許証などいっさい捨ててあるケースが多いからです。

そして、身元確認をしようとしたのは、「どこかに生きているのでは」という望みで、「もし自殺などしてという世間体が悪い」とする家族の気持ちも大分影響しているものとみられます。

こうした消息の分らない家出人の中には、思いがけない事故や、

自殺などによって異郷の地に無縁仏として葬られている方も多数あると思われまふ。

このような不幸な方々を一日も早く、身寄りの方にお引取りを願うため、九月いっぱい五城目警察署内に、家出人、行方不明の人を探る相談所が開設されています。

全国の警察署で取扱った身元の分らない死者の顔写真や所持品の記録を備え付けています。

お心当たりの方は、五城目警察署(電話四一〇〇)へおいでください。

栄ある表彰を受けられた

みなさん

八月から九月にかけて、次のかたがたが各種機関からその功績が認められて表彰されている。おめでとうさまでした。今後ますますの活躍を期待したい。

八柳一己さん

仙台法務局長から表彰される

八月二十三日、能代市民体育館で行われた秋田県連合戸籍事務協議会総会の席上、住民係長八柳一己さんが、長年戸籍事務を担当しその優秀さを認められて、仙台法務局長から表彰された。



八柳一己

己さんが、長年戸籍事務を担当しその優秀さを認められて、仙台法務局長から表彰された。

昨年は全国連合戸籍事務協議会から表彰されており、連続の栄誉を受けている。

十二年間の功績が認められて八月三十一日、秋田県教育会館で行われた第五回秋田県交通指導隊大会で、優良指導隊員の表彰があった。

本町の高橋兼太郎氏と伊藤金三



高橋兼太郎



伊藤金三

氏が、ともに十二年間の長きにわたり、率先して街頭に立ち交通安全確保のために努力してきた功績が認められて表彰されている。

公民館経営に寄与した

功績が大きい

九月六日大曲市国民体育館で行われた、第二十八回秋田県公民館大会で、長年公民館の運営、社会教育の地域振興と、生活文化の向上に果たした功績が、大きいとして五城目町公民館の伊藤敏雄社会教育主事が、県公連の岩城信雄会長から表彰された。



伊藤敏雄

伊藤敏雄社会教育主事は、放送利用の学習に取り組んでいるが、そのユニークさが好評を得ている。今後の活躍を期待したい。

秋の交通安全運動

交通ルール守るあなたが守られる

あなた
シートベルトを締めて
安全運転よ



したものである。また昨年の九月十六日、中央線通りを走っていた乗用車の前に、四歳になる幼児が急に飛びだして即死している。

この二つの事故から考えられることは、加害者側に、運転者とし

秋の交通安全運動が、九月二十一日から三十日までの十日間、県内いっせいに行われる。

この運動は、交通事故防止のため、県民ひとりひとりに交通安全思想の普及を徹底し、正しい交通ルールの実践を習慣づけようとするもの。期間中は特に、①歩行者および自転車利用者、特に子どもと老人の事故防止、②安全運転の促進、③飲酒運転の徹底追放の三つを重点項目に掲げて、運動を展開する。

子どもの事故防止

て責任を問われる過失があるにせよ、被害者側にも、事故を呼ぶ原因があることである。そして、この二つが重なった時、瞬間的な判断ができない幼児だけに、取り返しのつかない事態となる場合が多い。いたけない幼児の事故防止は、保護者の日常の指導がたいせつであり、通園通学前の子どもには特に母親の注意によるところが大きい。また、運転者は、歩行者や自転車利用者に対して、いたわりの心を持ち、特に老人や子どもに對しては、保護意識を徹底しなければならぬ。

運転は安全速度で

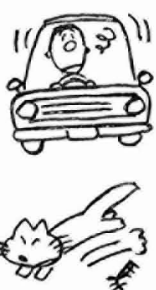
八月十二日午後二時四十分ごろ馬場目町村の県道で、十七歳になる高校生の運転するオートバイが、道路わきの杉の木に激突、運転者は全身を強く打って間もなく死亡。同乗者は一カ月のけがをした。これは、三十キロ制限のところで、時速七十キロを超えるスピードを

だしていたため、カーブを曲り切れなかったものらしい。

昨年一年間の若年運転者（二十四歳以下）と事故の關係をしらべた県警の資料によれば、二十四歳以下の若年運転者は、事故を起こす危険が二十五歳以上の運転者よりはるかに高いとしている。また、事故の多くは、死亡事故など重大事故につながっていることも示している。

スピードが増せば増すほど、事故にあう危険性は高くなるということとは、だれしもがわかつてのことである。しかし、若年運転者は、スピードとスリルを求めて暴走しがちである。同年齢の若者が制限速度で走っているのを、あざ笑うかのように追い越して行く。こういう運転者は、高速運転でできることが上手な運転であると誤解している。

道路はみんなが共有しているものであり、一運転者の違反は常には他の人へ影響を与える。交通規則は、歩行者や自転車利用者を保護するためだけのものでなく、運転



車自身を保護するものでもある。

免許取得者の低年齢化が進み、現在は二十〜二十四歳の男性の九割、十九歳以下でも半数が、運転免許を持っているといわれる。若年運転者が、全運転者の中で、大きな位置を占めるようになった今日、若年運転者の安全運転に対しての自覚が望まれる。

また、ベテランといわれる運動者は、若年運動者の模範となるよう心掛けて欲しい。

年金
問い・お答え

受給権のない人の救済のために

質問：私は昭和十五年一月生れ、妻は昭和十八年九月生れで、二人

とも会社に勤めたことも、国民年金に加入したこともありません。今からでも加入できるものでしょうか。もし加入できるとすれば、過去の保険料はどの位納めなければならぬでしょうか。

回答：前にも説明しておりませんが昭和五年四月二日以降に生れた方は、年金に加入して保険料を納めた期間が二十五年以上なければ年

あなたの奥さんの場合は、これから国民年金に二十歳の時点までさかのぼって加入し、保険料の納付は今年の九月からはじめても最低の二十五年の期間は満たされます。

昭和15年生れの未加入者

今すぐ加入の手続きを

間が不足ということになります。少なくとも三年八カ月分はさかのぼって納める必要があります。さかのぼって納める保険料の額は特例納付分（一カ月四千元）が一年八カ月で八万円、過年度分が（五十二年九月から五十三年三月まで）と、まず一日も早く加入の手続きをして、まず過年度分の保険料を納めるようにすることが大切です。とにかく年金はあなたのためものです。二人いっしょに加入して将来に明るい希望をもちましょう。

昭和五十四年度

自治医科大学

入学者募集

願書提出期限一月十七日

県内の医療に恵まれない地域に勤務する医師を養成するために開設された自治医科大学では、昭和五十四年度の入学者を募集している。

・入学を志願する資格
高等学校を卒業した者および昭和五十四年三月卒業見込みの者、

もちろんこの場合は今後一カ月の滞納もゆるされません。

あなたの場合はすでに三十八歳になっていきますので、この九月から保険料を納めますと六十歳までは二十一年と四カ月しかありません。九月から納めるだけでは、将来年金を受けるためには納めた期間が足りません。となってしまう。そんなことを考えれば、

間が不足ということになります。

のぼって納める必要があります。
さかのぼって納める保険料の額は
特例納付分（一カ月四千円）が一
年八カ月で八万円、過年度分が（
五十一年九月から五十三年三月ま

またはこれと同等以上の学力があると認められる者。

・募集人員 一〇〇名

・ 入学者選抜の方法

学力試験 人物考査、出身学校長から提出された調査書および健康診断により総合判断するとともに、自治医科大学の建学の趣旨を理解し、進んで学ぶ意思を確認できる者を選抜する。

秋田市山王四一〇一
霧〇一八八六〇一三六四

▽自治医科大学教務課
栃木県河内郡南河内町薬師寺
霧〇二八五四四二二二

入学生願者に対して、各省道府県単位で第一次試験（一月二十八日、二十九日）を行い、第一次試験合格者に対して第二次試験（二・五十四年一月十一日、十七日）入願書類提出期日（県環境保健部医務課事務へ提出）

統合二十周年を記念同窓会発足

初代会長に渡辺(八期卒)氏選ばれる

―連帯を強め使命に生きよう―

五城目第一中学校(校長小松正直)の卒業生が、統合二十周年を記念して、八月二十六日同窓会を結成発足させている。

この会が発足するまでに、八月五日設立準備委員会(委員長小川秀雄)を設け、二十二名の委員によって悠(ゆう)久不動の組織体制を築くために、細部にわたる検討を重ねてきた。

八月二十六日午後二時から、五城目第一中学校を会場に八十九名からなる設立役員会を開き、同窓会則審議、正副会長の選出、事業計画案の承認、記念行事の協力などについて協議した。

その結果、初代会長には第八期卒業生の渡辺靖彦氏が選ばれ、それを補佐する副会長は、各地区からそれぞれ一名ずつ選出された。連帯を強め、使命に生きよう、このメーンテーマのもとに統合二十周年記念行事を計画しているがそれによると、

一、記念式典

①日時 十月二十八日(土)

②場所 第一体育館

二、同窓会結成記念祝賀会

①日時 十月二十八日午後三時

②場所 町民センター

三、記念植樹

以上式典関係の主な内容であるが、この外に、五十四年四月をめぐって同窓会会員名簿の編集を手が

けることになっている。

五城目第一中学校の統合は、昭和三十三年七月一日富津内中学校西教場がその始まりで、以来年次計画のもとに、内川中学校(昭四二、四、一)、馬場中学校(昭四四、四、一)、大川中学校(昭四九、四、一)の順にすすめられてきている。

同卒業生は五十二年度末で一萬一千三十一名を数え、社会的にも各方面の中堅として大活躍をしている。

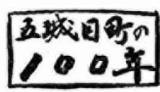
中でも異色の筆頭に、プロボクシング世界J・ミドル級チャンピオンの工藤政志選手が挙げられる。同窓会名簿を編集することにより、いろいろな分野で活躍している様子が、より明確になることだろうし、その完成が今から期待されるのである。

同窓会役員名は次のとおり。

- 会長 長 渡辺 靖彦(小池町)
副会長 伊藤 浩司(築地町)
小林 進(上山内)
工藤 兼光(浅見内)
伊藤 一也(町 村)
伊藤 建一(大川三区)
会計監査 浅野 淳悦(大川三区)
原田 啓蔵(富 田)
石井 鉄雄(帝釈寺)
理事 浅野 蔵司(大川一区)
伊藤 信男(大川二区)
小林 貢(大川三区)
伊藤 忠雄(大川四区)
嶋崎 照隆(下樋口)
伊藤 容一郎(石 崎)

- 千田 安太郎(西 野)
佐藤 貞雄(谷地中)
草 茂樹(帝釈寺)
宮城 正男(蓬内台)
石 忠光(中 村)
猿田 由男(館 町)
小 俊悦(中 村)
黒 功(水 沢)
金 実(中屋敷)
沢田 俊行(湯ノ又)
工藤 晃作(浅見内)
伊藤 孝男(浅見内)
石 久夫(黒 土)
石井 邦彦(小 倉)
沢田 石雄(湯ノ又)
小林 進(下山内)
伊藤 勇一郎(上山内)
畠 啓作(富 田)
伊藤 実(八 田)
石井 良之助(御蔵下)
六角 忠志(仲 町)
荒川 要悦(築地町)
小 吉雄(下高崎)
猿田 新一(岩 野)
坂谷 陽作(田 町)
佐藤 義行(一番町)
加藤 千雄(新 町)
笹 知(古川町)
大原 国雄(畑 町)
千田 峯夫(岡 本)
錦 徳夫(古川町)
荒川 雄一郎(今 町)
大原 国夫(畑 町)
山平 富子(新 町)
渡辺 隆太郎(小池町)
千田 光夫(蓬内台)
伊藤 実(昭辰町)
北 格一(新 町)
工藤 義孝(長 町)
館 金男(高 崎)
川上 哲也(畑 町)
館 和男(中川原)
猿田 順治(岩 野)
坂谷 慶子(新堀町)

- 今村 竜雄(御蔵町)
石川 幸夫(一番町)
築地 宏之(久 保)
宮田 周晃(長 町)
嶋崎 正男(新堀町)
山口 経一(古川町)
館 昭雄(下高崎)
若松 栄(川原町)
伊藤 啓昌(川原町)
築地 卓弥(田 町)
菊地 正和(細 越)
北嶋 悦子(川原町)
和田 喜次(米沢町)
渡辺 誠一(細 越)
坂谷 芳博(上田町)
一関 敏弘(久 保)
加藤 政光(仲 町)
伊藤 敏雄(野 田)
小野 久(浦横町)
山崎 真一(中川原)
藤本 次男(今 町)
柴田 喜博(古川町)
- 小森 隆一郎(仲 町)
柳原 善太郎(一番町)
渡辺 兵衛(古川町)
渡辺 憲彦(御蔵町)
畠山 順太郎(一番町)
荒川 正己(米沢町)
伊藤 直史(仲 町)
館 研悦(高 崎)
川村 信啓(川原町)
荒川 陽子(築地町)
長谷川 定夫(仲 町)
菊地 成一(新 町)
荒川 正比古(田 町)
荒川 達雄(畑 町)
柳原 正俊(昭辰町)
小川 正直(校 長)
小川 秀雄(中川原)



92

町のキツネ

小 野 一 二

鴉ノ木の弥五郎
昔、中央交通五城目駅のあるあたりから、農協会館、宗延寺のあたりにかけては、「鴉ノ木の森」とよばれる、昼もなお暗いという森であった。その後、森が伐りひらかれて畑や桑畑となり、さらに明治四四年(一八九一)には五城目小学校が新築移転したり、大正十一年(一九二二)に五城目駅ができたので、森も畑も姿を消してしまいった。

しかし、昔からの鴉ノ木稲荷神社はそのままだに残され、今日も稲

いている短い沢である。奥には不動の滝があり、不動尊の祠があった。昔は行場だった所であらう。また高性寺がもと建っていた場所ともいわれている。坊が沢というのは、寺坊即ち寺の建物のあった所という意味であらう。近くに堂社長根という地名もあって、この辺りは森山東側の信仰地域をつくっていたものと思われる。

坊子はそうした森山の沢に住んでいた雌のキツネであった。

弥五郎と坊子は夫婦であった。あるとき、弥五郎が病気になるので坊子は医者をおよびにいて往診してもらった。大きな屋敷で、診しなれた布団に寝ている患者は、獣であることに気づいた医者は、ハリに毒をぬり患者の急所にそれをうって、そして顔で帰った。

翌朝、鴉ノ木の森の奥で年とった大ギツネが死んでいるのが見つかった。

それから村に悪いことが次々におき、医者は気がふれて死んでしまった。一家はその後死にたえてしまったという。村人は、弥五郎のあたりだといっておそれ、稲荷神社にお祈りして弥五郎をとらえてやったという。

弥五郎と坊子の伝説は、今も語りながれにありますが、キツネにまつわる伝説は各地に残っているはずである。つい昭和十年度の頃まではそれぞれの村に、ばかし上手のキツネがいてさかんに人間をばかしたもので、それが人々のうわさとなつたものであった。キツネはそういう意味でも、人間と極く近い動物であった。

今日では、ばかすキツネもばかされる人間もなくなつてしまつた。キツネにとつて住みにくい世の中になつたのである。キツネの住みにくい世の中が、はたして人間にとつて住みやすい世の中なのかどうか、考えさせられるのである。

競別技種目
上山内
富田チム

優勝

午前九時四十分、五一中のブラ
スバンドにあわせて、参加六十町
内部落会が、入場行進を開始した。
それぞれ趣向を凝らした行進を
披ろうし、会場は華やかな雰囲気
となった。教育長の開会宣言とと
もに風船が放たれ、二年に一度の
祭典の幕開けとなった。

前回優勝の浅見内チームから、
優勝旗が返還された後、加賀谷町
長が「家庭、町内部落、町がふた
つではいけない。共通の目標に向
ってひとつでなければいけない」と
と激励。浅見内チームの工藤兼光

町内部落のさかんな応援合戦の
もと、代表選手たちは十三種目に
熱戦を展開した。正午近くから雨
が降りだし、閉会式を行う時は、
どしや降りであったが、選手たち
はひるむことなく力走し、無事に
全日程を終了した。競技の合間を
みて、踊りや組体操もあり、全町
民がスポーツの秋を十分に楽しん
だ一日であった。

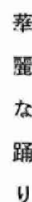
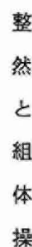
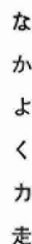
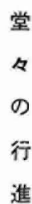
競技の結果は、十三種目中、一
位七回、二位四回のすばらしい成
績をだした上山内チームが、後半
追いつけた西野チームを振りきつ

◆ 競技種目

優勝	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	七位	八位	九位	一〇位	一一位	一二位
上山内	西野	畑町	湯ノ又	浅見内	館越	町村	富田	築地町	岩野	田町	大川三区	
一一七点	一一四	一〇七	一〇七	一〇一	九八	九六	九四	九一	九〇	九〇	八九	
二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	
岡本二区	樋口	高千	岡本一区	水沢	下樋口	八田	広ヶ野	下高崎	新畑町	杉沢	仲町	
八〇	八〇	八〇	七七	七七	七三	七三	七二	六八	六六	六六	六五	
四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇
紀久栄町	一番町	上田町	高崎	浦横町	今町	岩城町	寺庭	新町	館町	長町	合地	御蔵町
五二〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	四七〇	四六〇	四六〇	四五〇	四一〇	三八〇	三五〇	一五〇	一四〇

◆特別種目

以下同得点二十七点で二十一位	二〇 #	一八 #	一七 #				一三 #	一二 #	一一 #		九 #	八 #	七 #	六 #		四 #	三位	準優勝	優勝	
	畑町	上田町	中川原	館越	野田	小倉	岩野	古川町	中村	下高崎	昭辰町	平ノ下	湯ノ又	高千	浅見内	広ヶ野	下山内	上山内	黒土	富田
	二八	三〇	三〇	三三	三四	三四	三四	三四	三五	三六	三八	三八	三九	四一	四四	五〇	五〇	五三	五四	五八



10月 ごみ収集日

町内名	10月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ヶ野	6	13	20	26	31	
希望ヶ丘	6	13	20	26	31	
田町	6	13	20	26	31	
上田町	6	13	20	26	31	
今町	6	13	20	26	31	
御蔵町	6	13	20	26	31	
小池町	6	13	20	26	31	
川原町	6	13	20	26	31	
新町	2	7	15	21	27	
一番町	2	7	15	21	27	
古川町	2	7	15	21	27	
紀久栄町	2	7	15	21	27	
中川原町	2	7	15	21	27	
館城町	2	7	15	21	27	
岩城町	2	7	15	21	27	
築地町	3	10	17	22	28	
畑町	3	10	17	22	28	
新畑町	3	10	17	22	28	
矢崎町	3	10	17	22	28	
仲町	5	12	18	25	30	
長町	5	12	18	25	30	
米沢町	5	12	18	25	30	
雀館	5	12	18	25	30	
昭辰町	5	12	18	25	30	
大川一區	5	12	18	25	30	
二區	5	12	18	25	30	
三區	5	12	18	25	30	
四區	5	12	18	25	30	
馬場目	4	14	24			
富津内	4	14	24			
内川	4	14	24			
大川(本村以外)	9	19	28			
面瀧	9	19	28			
馬川	9	19	28			

●直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(電話3958)

<直接搬入料>

2トン未満 1回につき 6000円
2～4トン未満 1回につき 9000円
4トン以上 1回につき 13500円
※収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ
収集日表を必ず見るようにしてください。



警察職員募集

五城目警察署では、女子職員を募集している。
募集内容はつぎのとおり。
・採用職種、現業職員
(主として電話交換業務)

申込期限 九月二十二日
午後2時30分～3時10分
本間商店前(矢場崎)
午後1時30分～2時10分
宮田商店前(米沢町)
午後11時～11時50分
南秋木材KK前
午前10時～10時40分
荒要商店前
午前9時～9時40分
荒要商店前
午前8時～8時40分
門間精肉店前
午後2時～3時
川端会館
午後2時～2時30分
消防署前
午後2時50分～3時30分
ト一屋前

善意銀行預託者

・採用予定人員 一名
・応募資格
①18歳から20歳までの健康な未婚の女子
②高等学校卒業程度以上の学力を有する者
・申込方法
つぎの書類を提出してください
①願書 一通
②健康診断書 一通
・申込先 五城目警察署警務係
・募集期間 九月13日～九月22日
※詳しくは五城目警察署まで

老人ホームによせられた善意
・ソーマン 上樋口 猿田源三郎
・三万円 仲町 伊藤 常雄
(亡母ミチエ殿の香典返しとして)
・八月二十一日
・一万円 東京都 伊藤 勝子
(広報など送っていただいたお礼として寄附されたもの)

三種混合予防接種

おしらせ



ジフテリア・百日咳・破傷風
三種混合の予防接種を、つぎの日程で行いますから、対象者は必ず受けてください。
日程
第一期
▽五城目、面瀧地区

第二期(一回接種)
昭和43年9月1日から昭和50年8月31日までの出生者で、第一期の接種を完了し、一年から一年半経過した者。
注意事項
・問診票用紙には必ず記載し、母子健康手帳といっしょに持ってきて係に提示してください。当日会場に来る前に一応体温を測定し、

結核検診

9月25日～28日

昭和五十三年度第一次結核検診
をつぎの日程で行います。当日は
血圧測定もあわせて行いますので
となり近所さそいあつておいで
ください。
第一期(三回接種)
昭和50年9月1日から昭和51年8月31日までの出生者。
9月25日
午前9時～9時40分

伊藤市太郎氏宅前(希望ヶ丘)
午前10時～10時40分
加賀谷石材店前
午前11時～11時40分
広月堂前
午後1時～1時40分
長谷川忠雄氏宅前(田町)
午後2時～2時30分
消防署前
午後2時50分～3時30分
ト一屋前

9月26日
午前9時～9時30分
工藤電気前
午前9時50分～10時20分
旧湖東病院跡
午前10時40分～11時40分
丸富旅館前
午前10時40分～11時40分
渡辺印刷店前
午後2時～3時
武石自転車店前
9月27日
午前9時～9時30分
石川旅館別館前(館町)
午前9時50分～10時30分
老人ホーム前
午前10時50分～11時20分
猿田俊蔵氏宅前(樋口)
午後1時～1時40分
門間精肉店前
午後2時～3時
川端会館
午後2時～2時30分
消防署前
午後2時50分～3時30分
ト一屋前

・採用予定人員 一名
・応募資格
①18歳から20歳までの健康な未婚の女子
②高等学校卒業程度以上の学力を有する者
・申込方法
つぎの書類を提出してください
①願書 一通
②健康診断書 一通
・申込先 五城目警察署警務係
・募集期間 九月13日～九月22日
※詳しくは五城目警察署まで